

2021 <sup>か</sup> <sup>ぞく</sup> 家族でかくにん!

# わが家のぼうさい コンテスト 入賞作品集



もしものときに<sup>そな</sup>え、<sup>か</sup> <sup>ぞく</sup>家族で<sup>はな</sup> <sup>あ</sup>話し合おう!

主催／ふくいの水防災を考える会

(福井河川国道事務所、福井地方気象台、福井県、福井市、小浜市、鯖江市、あわら市、越前市、坂井市、永平寺町、池田町、南越前町、若狭町)

共催／福井新聞社 NHK福井放送局 後援／福井県教育委員会 福井県防災士会

特別協賛／JA共済連 福井 協賛／近畿建設協会 損保協会北陸支部福井損保会 協力／ミドリ防災

※本コンテストは、国土交通省の「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づき、九頭竜川・北川大規模氾濫減災協議会において取り組む施策としています。

# もくじ

- 2 入賞者一覧
- 3 審査委員名  
審査講評  
審査委員長  
福井工業高等専門学校  
環境都市工学科教授 辻子 裕二氏
- 5 最優秀賞 作品紹介  
福井市西藤島小学校5年 土田 彩絢さん
- 7 優秀賞 作品紹介  
福井市豊小学校4年 田川 歌鈴さん
- 8 優秀賞 作品紹介  
越前市服間小学校5年 内藤 優大さん
- 9 福井新聞社長賞 作品紹介  
福井市東安居小学校4年 廣瀬 聡太さん
- 10 NHK福井放送局長賞 作品紹介  
福井市森田小学校6年 相馬 夢來さん
- 11 JA 共済連福井本部長賞 作品紹介  
福井市清水西小学校5年 田中 稟愛さん
- 12 入選作品の紹介
- 18 奨励賞作品の紹介

# 2021 家族でかくにん! わが家のぼうさいコンテスト 入賞者一覧

 最優秀賞	福井市西藤島小学校5年 土田 彩絢さん		
 優秀賞	福井市豊小学校4年 田川 歌鈴さん	越前市服間小学校5年 内藤 優大さん	
 福井新聞社長賞	福井市東安居小学校4年 廣瀬 聡太さん	 NHK 福井放送局長賞	福井市森田小学校6年 相馬 夢來さん
 JA共済連福井 本部長賞	福井市清水西小学校5年 田中 稟愛さん		
 入選	福井市社南小学校6年 濱田 侑里さん 福井市一乗小学校6年 藤田 健吾さん 福井市順化小学校5年 藤本 大翔さん 鯖江市北中山小学校3年 川端 千陽さん	福井市社南小学校6年 笛吹 美優愛さん 福井市麻生津小学校6年 福野 光莉さん 坂井市雄島小学校5年 中島 大貴さん 若狭町三方小学校5年 長谷川 沙津紀さん	福井市清水西小学校5年 田中 蒼空さん 福井市社北小学校5年 津田 彩花さん 福井市東郷小学校5年 岡田 桜子さん
 奨励賞	勝山市北郷小学校5年 田中 大樹さん 福井市社北小学校5年 上田 彩葉さん 福井市美山啓明小学校4年 川端 颯真さん 坂井市平章小学校4年 北 ころろさん 福井市麻生津小学校5年 八十川 柚姫さん 福井市社北小学校5年 水島 令穂さん 福井市麻生津小学校5年 高橋 凜太郎さん	福井市麻生津小学校5年 高橋 新奈さん 越前市吉野小学校3年 一 弘晃さん 福井市日之出小学校5年 櫻井 栄太郎さん 福井市麻生津小学校5年 吉田 真輝さん 越前市吉野小学校5年 木村 晴紀さん 越前市吉野小学校5年 政田 凪葉さん 福井市麻生津小学校5年 坪田 和実さん	福井市森田小学校6年 笹村 優彩さん 坂井市平章小学校4年 東 津稀乃さん 福井市麻生津小学校5年 吉村 怜さん 坂井市雄島小学校6年 太田 匠哉さん 鯖江市立待小学校5年 橋本 稜央さん 福井市一乗小学校6年 林 凜香さん 小浜市内外海小学校4年 吹田 窓佳さん

## 審査委員名列

審査委員長 辻子 裕二氏	福井工業高等専門学校 環境都市工学科教授
審査委員 宮本 久仁彦氏	国土交通省近畿地方整備局 福井河川国道事務所長
中村 直治氏	気象庁 福井地方気象台長
三谷 清氏	福井県土木部副部長
見延 政和氏	越前市総務部防災危機管理課長
山本 道隆氏	福井新聞社常務取締役営業統括本部長
橋本 典明氏	NHK福井放送局長
岡本 寛紀氏	JA共済連福井本部長



## 審査講評



〈審査委員長〉 辻子 裕二氏 福井工業高等専門学校 環境都市工学科教授

今年で第8回目となる「わが家のぼうさいコンテスト」の応募数は251点で、応募数としては歴代3番目となりました。また、今年の応募数を含めた当コンテストへの累計応募総数は1700を超えました。これは福井県内約29万世帯の内約0.6%の家族がこのコンテストへの応募に関係したことを示すものです。一つの作品を完成するためには家族以外にも多くの“関係者”の協力が欠かせません。当コンテストへの応募を通じて徐々に“関係者”が増え、県内に防災意識が広がっているものと思います。さらに、今回のコンテストで特筆すべきは県内24の小学校から応募いただいたことです。この数は過去最大であり、当コンテストの裾野の広がりを裏付けるものと解釈します。応募にあたり、応募者とそのご家族はもとより、ご指導にあられた方々、調査等に協力された方々等の“関係者”の皆様のご尽力に、厚くお礼申し上げます。

一方、昨年度から始まった「わが町の防災コンテスト」には、今回8点の応募がありました。防災こそ地域づくりである、との意気込みが感じられる応募作品が多く見られました。防災を地域づくりの一つの基軸として取り組む地域有志等“関係者”の情熱を感じており

ます。改めて、そのご尽力に敬意を表します。

さて、2019年末から続くコロナ禍は、あらゆる面で子どもの生活を一変させ、避難方法を含めた防災行動にも大きな影響を与えることになりました。この中で5段階の「警戒レベル」が適用され、聞き慣れた「避難勧告」が事実上無くなりました。今年の実務作品にはこの変化を浸透させたいとの意図もあってか「警戒レベル」に関する内容が多く含まれていました。中には、マイタイムラインに警戒レベルを落とし込み、振り返りができるよう工夫した作品も見られました。

昨今の防災では、遅れなく反応し、自らの身を守ることを尊重する姿勢が浸透しています。この姿勢は「わが家」も「わが町」も同じはずですが、今回の2つのコンテストでは「わが家」と「わが町」を分けましたが、「マイ防災」から「私たちの防災」、そして「みんなの防災」への展開がシームレスであることは容易に想像できます。つまり、防災は「どこから始めても間違いではなく、どこから始めても全てにつながる」と言い換えられそうです。今回行われた2つのコンテストをきっかけに、それぞれのスタンスでそれぞれの防災をリスタートさせ、幅広く発展させていただければと思います。そうすれば次第に“関係者”が増え、県内の防災の厚みがより増していくのだと思います。そう願っています。

2021 家族でかくにん!

# わが家のぼうさいコンテスト

## 入賞作品集



表彰式で辻子審査委員長(左)から賞状を受け取る、最優秀賞の土田彩綱さん  
= 2021年10月10日、福井市の福井新聞社・風の森ホール



壇上に並ぶ奨励賞受賞者



壇上に並ぶ入選受賞者



作品で工夫した点など、司会者からの質問に答える上位の受賞者



入賞の力作を並べた作品展

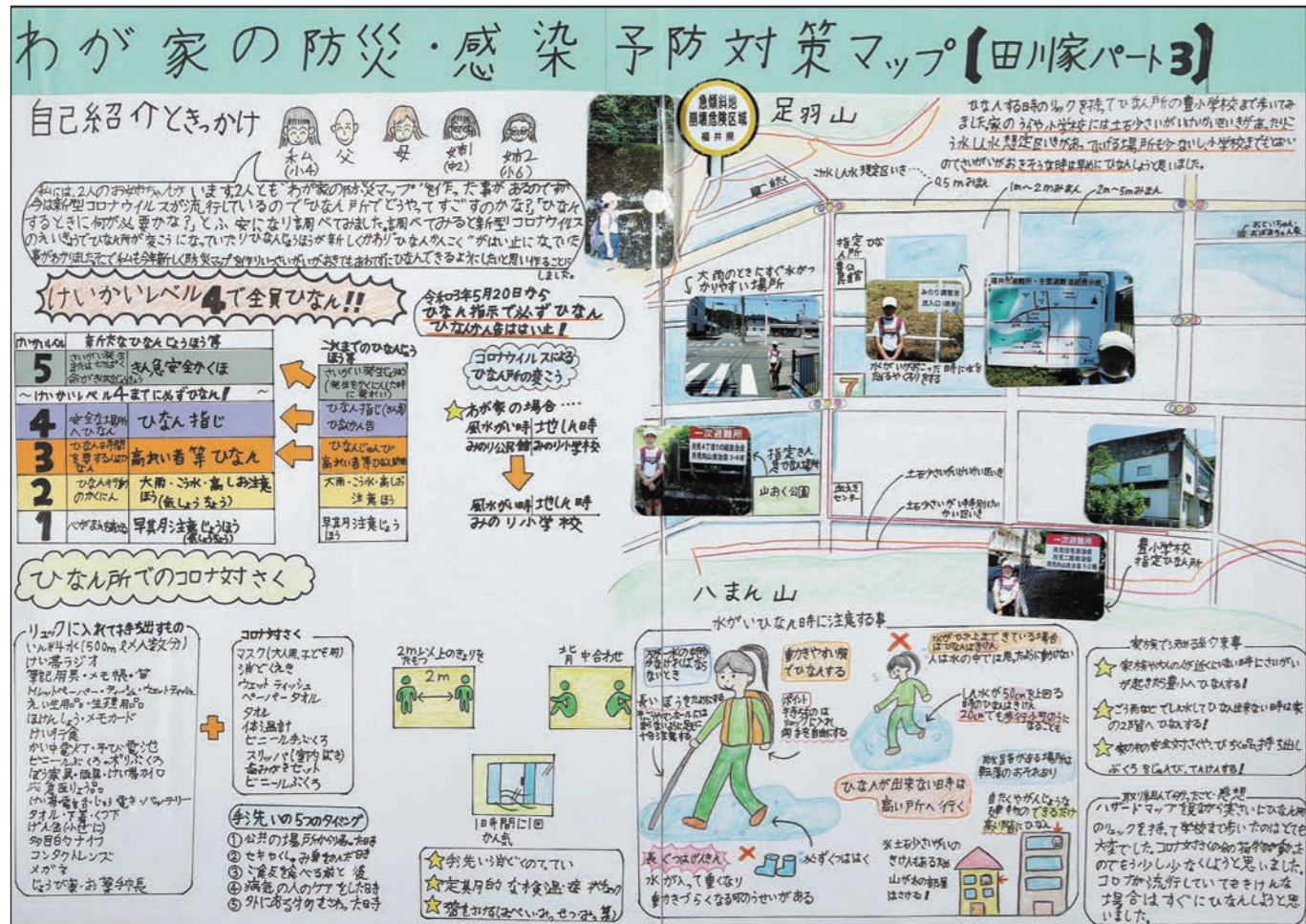




福井市豊小学校4年  
田川 歌鈴さん

講評 (審査委員長)

とても丁寧に防災マップが描かれています。その防災マップ上の避難経路における弱点を写真を用いて強調し、忘れないように記録しています。家族の約束事を明示し、警戒レベル4までに必ず避難する決意がうかがえます。通常の対策に加えてコロナ対策を分けて示し、隣人との距離の置き方を絵でわかりやすく解説しています。手洗いの5つのタイミングなど実用的な面も確認できます。パート3ということは、継続的に更新をされているのだと思われます。



受賞者コメント

私の姉は、以前、「地しん」「水がい」についての防災マップを作ったことがあります。あれから、数年しかたっていないのに、私が住んでいる地区のひなん所が変こうになっていることに気づきました。また、コロナのえいきょうで生活の仕方も変わってきました。そこでひなん所での過ごし方や持ち物などを調べてみたいと思い、今回新しく防災マップを作りました。

調べてみると、ひなん用の持ち出しぶくろの中には、コロナ対策用品も入れていくことが大切なこと、大雨で水につきやすい場所は、ハザードマップでは色がこくなっていることが分かりました。

私の家には、ひなんぶくろがないので、調べたことを生かしてじゅんびして、いつでもひなんできるようにそなえたいと思います。



越前市服間小学校5年  
内藤 優大さん

講評 (審査委員長)

画用紙を横につなげて多くの情報を盛り込んでいる点が斬新です。横長の特徴を生かし、廊下の壁などに掲示して普段から見る(学ぶ)様子を想像することができます。警戒レベルに合わせた行動は具体的に明確であり、他の家庭でも参考になると思われます。祖母の持病の薬を確認するなどきめ細かな配慮もうかがえます。夜の地震に備えて普段から実践していることとして「ふとんの近くにヘルメットと靴」が置いてあるとの記載がありますが、常に防災を考えている様子がうかがえる大作です。

受賞者コメント

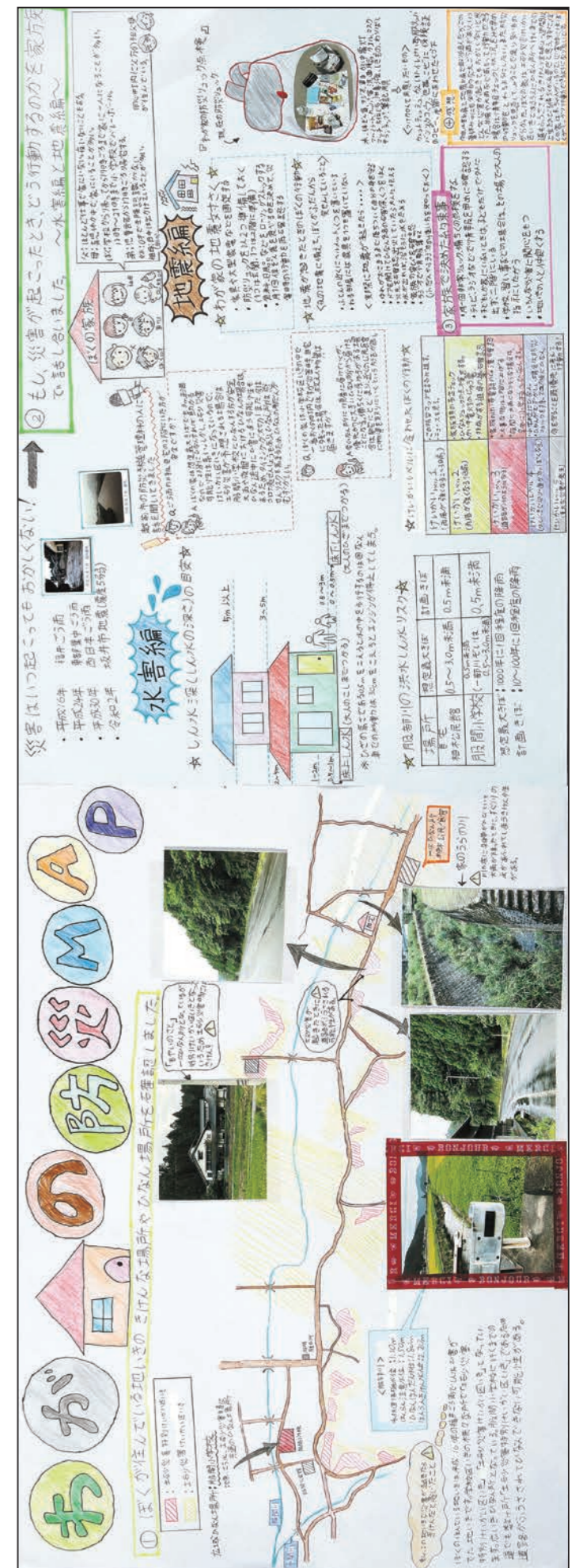
ぼくは、この防災マップを水害編と地震編に分けてまとめました。

水害に関して、ぼくの住む地域は福井豪雨で床上浸水の被害を受けたと聞き、水害は他人事ではないと感じました。

防災マップを作成する上で工夫した点は、自宅から避難場所に行くまでの土砂災害特別警戒区域を実際に見て確認したことです。また防災管理課の人から具体的な避難方法や救援物資などについて直接話を聞くことができたことも良かったです。ぼくは、早く避難することが良いと思っていたけど、避難するタイミングや状況によっては自宅に待機する方が良い場合があることを知りました。

地震に関しては、去年茶碗ががたつくような地震を体験しました。地震は水害のように前もって避難することが難しいけれど、その分日頃からの備えが大切だと思いました。

災害はいつ起こるか分かりません。災害についてもっと関心を持ち、普段から災害時の備えや行動について家族で話し合っていきたいです。





福井新聞  
社長賞

福井市東安居小学校4年  
廣瀬 聡太さん

講評 (審査委員長)

枠組みを明確にし、流れが直列になっているので、迷いなく読み込むことができる作品です。中心に防災マップが描かれ、そこから吹き出しのように様々な情報がひもつけられています。過去に発生した「福井での大きな災害」を写真とともに並べ、「想定される被害と対策」をまとめています。また、水害、地震災害だけでなく、大雪による災害も想定しています。サブタイトルを「自分で自分の命を守る」としており、自身の防災に対する強い思いを読み取ることができます。

# わが家の防災 MAP 自分で自分の命を守る

**防災 MAP 作成の理由**

東日本大震災のニュースや、福井県内でも大雨による洪水、土砂災害が起きたり、大きな地震が各地で発生したりと、福井でもこれまでに地震、水害など大きな災害が起きていることを身近な家族から聞いた。自分の命を守るために自分たちが考えなくてはならない災害。

**わが家の家族**

父 玄根 寛	62才
母 小川 幸子	57才
兄 中一 健	12才
兄 小舟 拓	10才
姉 愛太郎 由	10才
祖父 健太郎	70才
祖母	69才

**【4】家族と話し合っ て決めたこと**

- 学校での先生の指示を守り行動する
- 父母が仕事などいかに不在の場合は遠くへ避難し家族と話し合う
- 大雨に外出できない
- 連絡がつかない場合は、Xも残す
- 家族は、誰も寝て、止まらない下の安全な場所へ
- あわて、外へ飛び出さない
- 無難な火を消そうとする
- 屋外では、ブロック塀や土のうたに注意する
- 看板が倒れたが大変に注意する

**非常持ち出しレシモ**

防災用品は、非常持ち出し袋と準備しては定期的にチェックして入れ替えをしよう(賞味期限や、バッテリーのチェック)

**避難場所の注意**

● 土砂の落とし穴を避ける ● 落下物に当たらない ● 危険な物は避ける ● 避難しにくい場所を避ける ● 手すりや柵に注意する

**【1】福井での大きな災害**

1. 福井大震災  
昭和27年6月福井県を揺るがした、震度7の地震が起きた。福井県内で死者52人、福井市の火災などで200人以上の死者が起きた。祖父は、この地震で家が壊れ、家を建て直して建て直しにわたりました。

2. 福井大水害  
平成14年7月に発生した福井大水害は、7月7日に上回る記録的な大雨となった。足羽川が氾濫し、川が堰を切った。死者や行方不明者が多かった。死者数は、福井市だけで100人以上にわたりました。

3. 大雪  
今年も大雪となり、福井市でも大雪となり、多くの被害がでた。また、福井市でも大雪となり、多くの被害がでた。

**【2】想定される被害と対策**

● 洪水被害  
● 地震被害  
● 大雪被害

**【3】最近の災害と特長**

● 複合災害や想定外災害  
● 対策  
● コア対策

**【5】まとめ (防災 MAP を作って思ったこと)**

- 防災マップは、家族で話し合っ て作る
- 防災マップは、有効期限と半年に一回確認する
- 避難場所や地域のことをよく知る
- 防災訓練は、必ず参加する
- 災害が起きたら、自分で自分の命を守る
- 災害が起きたら、自分で自分の命を守る

受賞者コメント

今、日本各地で大雨による洪水や、土石流など大きな災害が頻りに発生しています。福井でもこれまでに福井地震や水害、大雪など大きな災害が発生したことを祖父から聞きました。いつ起きるかわからない災害に対し、自分や家族の命を守るため、どうしたらよいかMAPにまとめようと思えました。

近くを調べた結果、ぼくの住んでいる飯塚地区は足羽川、日野川、狐川に囲まれ福井市のハザードマップでは最大3メートルのかん水区域だと知りました。また避難場所の東安居小学校には非常時のびちく倉庫や給水設備がありました、避難経路にはブロック塀や狭い歩道があることもわかりました。このことを家族と話し合っ て日頃から防災グッズの点検や補充などを行うことや、災害が発生した場合の家族でのルールも決めました。

いつ災害が起きても自分で自分の命を守るという強い気持ちで、地域の人たちとも協力して乗りこえなければと思っています。



NHK福井放送  
局長賞

福井市森田小学校6年  
相馬 夢来さん

講評 (審査委員長)

全体的に丁寧に読みやすい字で作られています。重要な点にはマーキングが施され、記憶に残りやすいようにわかりやすい濃淡を与えています。「災害が起きたらどうする?」との問いから始まっていることも特徴的です。みんな(家族)が家にいるときには1階に集合し、みんながバラバラでいたら連絡を取り合う基本姿勢を明らかにしています。所々に似顔絵が描かれており、家族全員の「命を守ろう」という気持ちがほほえましくも強く感じられる作品です。

# 災害と避難 ~ 災害がおきたらどうする? ~

**避難 ぶくろの中身を確認しよう!**

避難 ぶくろの中身は大きく分けて4つに分けておきます。中身を確認してみましょう!

① 避難用品  
● 水(500ml エンメル)  
● 食料(1日分の食料)

② 貴重品  
● 現金  
● 貴重品  
● 免許証のコピー  
● 薬  
● 携帯用ライター  
● 懐中電灯

③ その他  
● コットン着  
● マスク  
● アルコール消毒液  
● 体温計

**【1】避難場所の見つけ方**

● 避難場所の見つけ方

● 避難場所の見つけ方

**【2】避難時の注意事項**

● 避難時の注意事項

● 避難時の注意事項

**非常持ち出しレシモ**

防災用品は、非常持ち出し袋と準備しては定期的にチェックして入れ替えをしよう(賞味期限や、バッテリーのチェック)

**【1】福井での大きな災害**

1. 福井大震災  
昭和27年6月福井県を揺るがした、震度7の地震が起きた。福井県内で死者52人、福井市の火災などで200人以上の死者が起きた。祖父は、この地震で家が壊れ、家を建て直して建て直しにわたりました。

**【2】想定される被害と対策**

● 洪水被害  
● 地震被害  
● 大雪被害

**【3】最近の災害と特長**

● 複合災害や想定外災害  
● 対策  
● コア対策

**【5】まとめ (防災 MAP を作って思ったこと)**

- 防災マップは、家族で話し合っ て作る
- 防災マップは、有効期限と半年に一回確認する
- 避難場所や地域のことをよく知る
- 防災訓練は、必ず参加する
- 災害が起きたら、自分で自分の命を守る

受賞者コメント

私が防災コンテンツの作品をつくろうと思ったきっかけは、去年あった地震です。一瞬、何が起きたか分かりませんが、すぐに机の下に入りました。その後は、先生の指示にしたがって、グラウンドに避難しました。地震が起きた次の日に、地震が起きたのだと実感し、少し怖くなりました。そして今年の夏休み、何の宿題をしようか考えているとき、防災コンテンツを見つけました。これを機に家で災害について見つめ直そうと思い、災害と避難について調べました。

作品の中で特にながらったのは、避難ぶくろについての部分です。避難ぶくろの中に入れておくと良いものを中心に、避難ぶくろをつくるときのコツについてもまとめました。中身を考えた部分は優先順位をつけたり、グループごとに分けたりと分かりやすさのためにしました。避難ぶくろをつくらうと思っている人に見てほしいです。



福井市清水西小学校5年  
田中 稟愛さん

講評 (審査委員長)

水害をテーマとし、水色を基調に全体がまとめられており、見やすい構図となっています。防災マップが立体的に見えるくらい丁寧に描かれています。冠水する道路は色付けされており、避難経路を考える上で大きな参照情報となります。浸水ハザードマップを白地図に落とし込む作業もされており、DIG(災害を想像する訓練)を経て作成されたであろうことがうかがえます。末尾の「備えあれば憂いなし」に関わった方々の思いが込められているようです。

受賞者コメント

今年7月の大雨で私の住む清水西地区でも大きな被害がありました。その様子をみなさんに伝えたくて、町の人々の声を聞いたり、水害の写真をはり、わかりやすくまとめました。地図を手書きしたり、公民館だよりを参考に工夫しました。

水害マップを作ると決めて、避難する時のことを家族で話し合うことができました。90才のひいおばあちゃん、祖父、祖母もいっしょにくらしているの、あわてずに転ばないことを伝えました。私は犬も飼っているの、犬も家族だと思っています。犬のこともわすれずに防災を考えていきたいです。

水害のあとに家のそうじが大変そうでした。家の中の泥、水につかった電化製品やタンス。川には流れてきた木や大きなゴミ。道の泥やペットボトルもありました。浸水した家では泥出しの後、消毒もすると聞きました。水害にあわれた方は体や心に負担がかかる事をみなさんに一番お伝えしたいです。



福井市社南小学校6年  
濱田 侑里さん

講評 (審査委員)

防災に関する知識だけでなく、過去の体験から学んだことを今後どのように生かしていくか、実際に避難所へ行く際にどのようなところが危険になるのか、といったポイントが記載され、非常に実用性の高い防災マップとなっています。



福井市社南小学校6年  
笛吹 美優愛さん

講評 (審査委員)

災害が発生すると、パニックになって落ち着いた行動がとられなくなることがよくあります。災害発生時にどのような行動をとるのかを前もって整理した点がよくかかっています。大雨で洪水になると外に避難するのは危険な場合がありますので、ハザードマップなどで家の周りのどのあたりまで浸水し、危険になるかも調べてみてください。





福井市清水西小学校5年  
田中 蒼空さん

講評 (審査委員)

2021年7月29日に福井市清水西地区で起こった川の氾濫、その時に地域の皆さんがどのように行動されたかなどが、自身の体験としてとてもリアルに報告されていました。この体験に基づいたものだからこそ、防災マップも持ち出した常備品も、避難ルールもとても現実感と緊張感にあふれたものになっていました。



福井市麻生津小学校6年  
福野 光莉さん

講評 (審査委員)

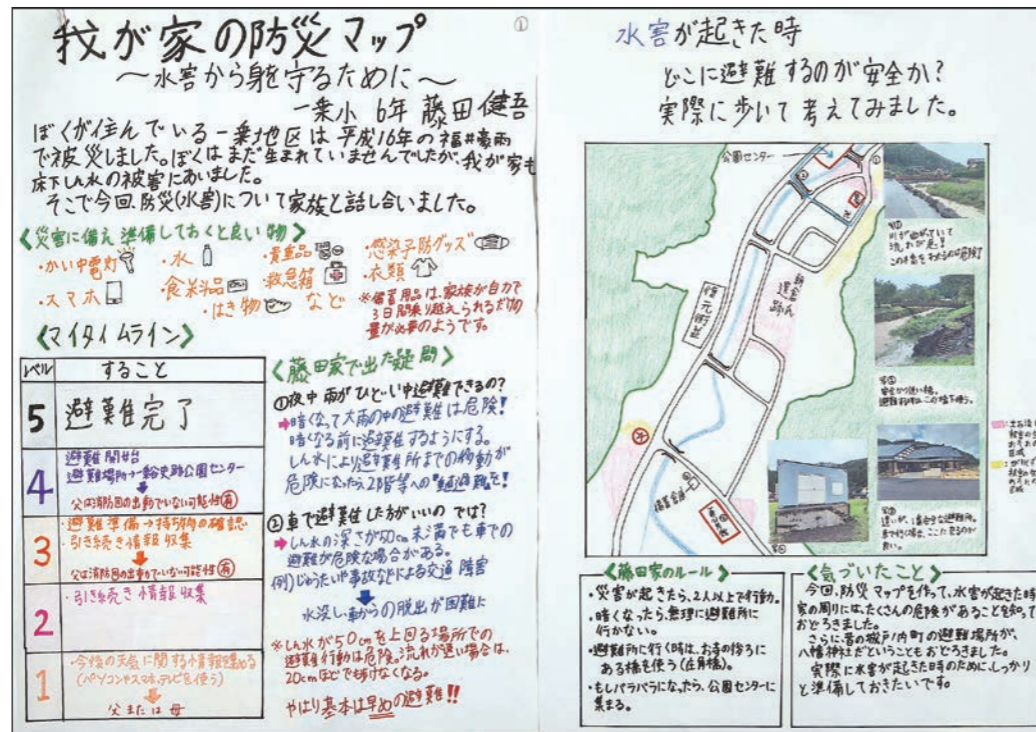
警戒すべき場所を実際に確認して簡潔にマップにまとめられています。また地域の歴史を知ることとても大切です。マップの作成を通じて得た発見やいつでも対応できるようにという心がけが実際の避難時に生かされることでしょう。



福井市一乗小学校6年  
藤田 健吾さん

講評 (審査委員)

気象庁の警戒レベルが、発表されている表だけでなく、想定されるお父さんの行動や避難すべき具体的な場所など、身の回りの状況に的確に反映されていました。避難マップや家族との話し合いなどもそうですが、身近なところから話し合わせておくことが、いざという時に役立つのだろうと感じさせられました。



福井市社北小学校5年  
津田 彩花さん

講評 (審査委員)

いろいろな災害を考えて、日頃からの準備や災害時の行動がまとめられています。マップについてはブロック塀の記載もあり、現地を確認されたことがうかがえます。防災センターでの体験など実際に経験することで確実に防災力を高められたことが分かる作品です。







福井市順化小学校5年  
藤本 大翔さん

講評 (審査委員)

住んでいる地域の住民を年代別に色分けし、どの家にお年寄りが何人いるかなどの情報が地図に落とし込まれ、一目で把握できます。普段から声掛けや手伝いもしているとのこと、とても感心します。いざという時に備えておこうという意欲的な作品です。



福井市東郷小学校5年  
岡田 桜子さん

講評 (審査委員)

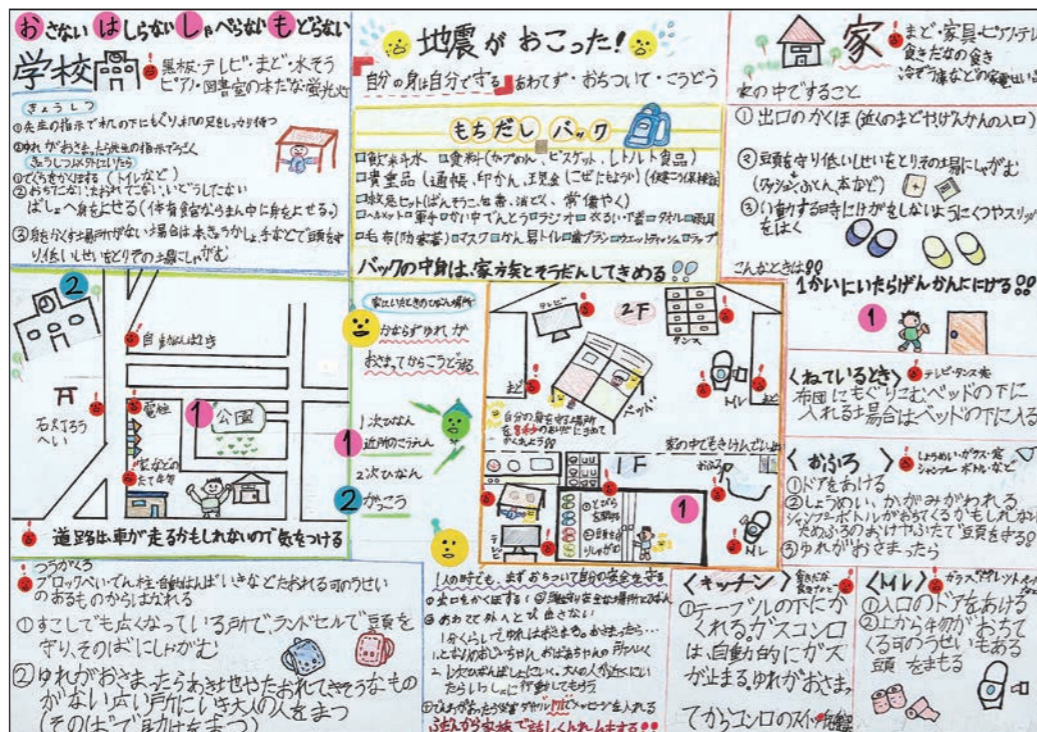
災害用伝言ダイヤルを実際に練習したり、使わなくなった座布団で防災頭巾を作ってみるなど、防災マップを制作する過程でいろんな経験をされていることが分かります。いずれも貴重な経験ですので、災害時に生き残るよう日々の積み重ねを大事にしてくださいね。



坂井市雄島小学校5年  
中島 大貴さん

講評 (審査委員)

場所ごとに身を守る行動を分けているところが良かったです。地震はいつ起こるか分かりません。それぞれの場所で、それぞれの危険性があるため、適切な行動が異なります。それに気づき、まとめたことがこの防災マップの実効性に結びついていると思われる。



鯖江市北中山小学校3年  
川端 千陽さん

講評 (審査委員)

土砂災害、浸水害、地震災害のそれぞれで、自分の家の周りのどこが危険いかわかりやすくマップにした点がとてもよかったです。川があふれて道路に水がたまったときは外への避難は危険になり、家の2階への避難が安全となりますので、大雨のときの避難方法についても家族で話し合ってみてください。



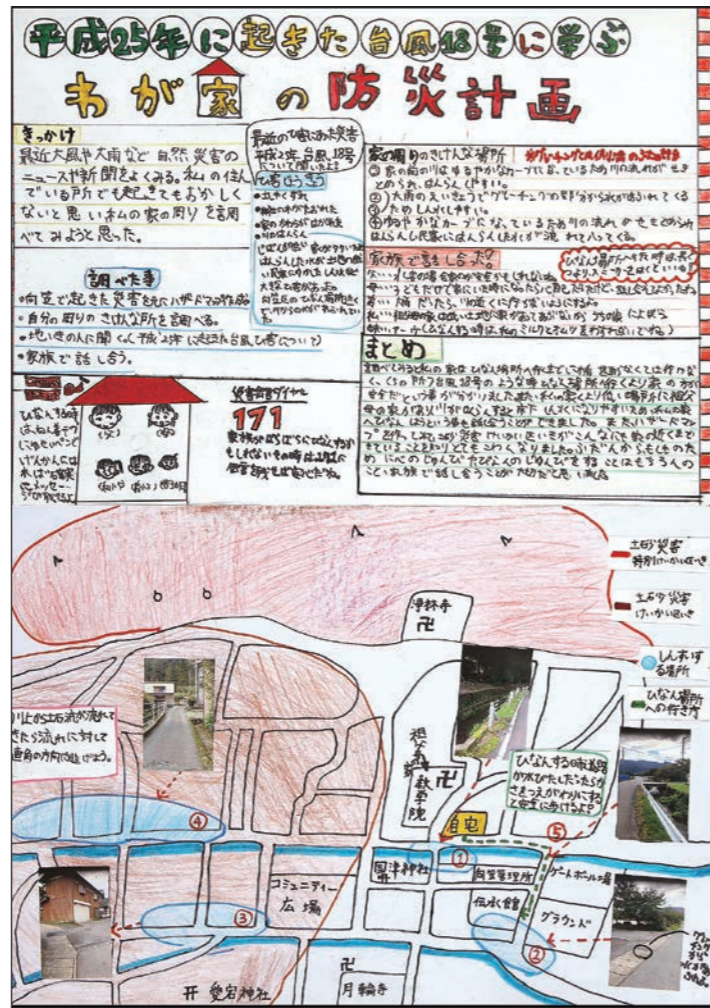


若狭町三方小学校5年

長谷川 沙津紀さん

講評 (審査委員)

過去の台風被害をもとに、自宅周辺の危険な場所についてよく調べ、分かりやすくまとめています。写真付きで、地図を見ると危ない場所がすぐに分かります。また、別の場所に住んでいる祖父母のこともご家族でよく話し合っていて、もしもの時でも心配ありませんね。



勝山市北郷小学校5年  
田中 大樹さん



福井市麻生津小学校5年  
高橋 新奈さん



福井市森田小学校6年  
笹村 優彩さん



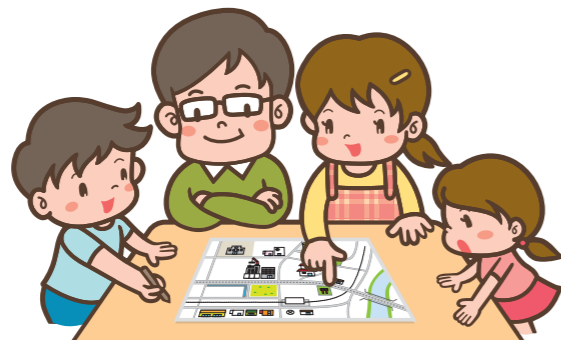
福井市社北小学校5年  
上田 彩葉さん



越前市吉野小学校3年  
一 弘晃さん



坂井市平章小学校4年  
東 津稀乃さん

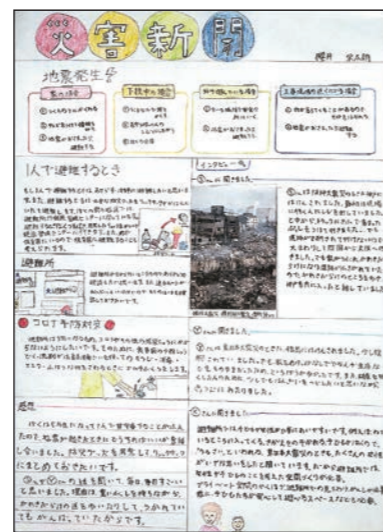




福井市美山啓明小学校4年  
川端 颯真さん



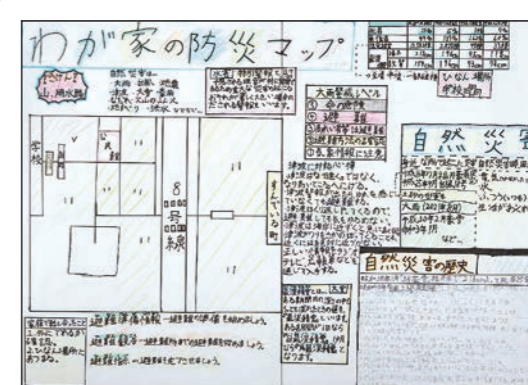
福井市日之出小学校5年  
櫻井 栄太郎さん



坂井市雄島小学校6年  
太田 匠哉さん



福井市麻生津小学校5年  
八十川 柚姫さん



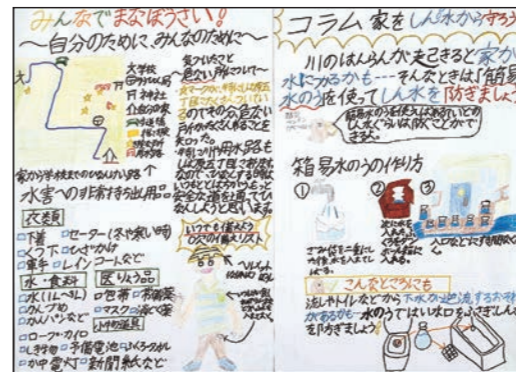
福井市麻生津小学校5年  
吉村 怜さん



坂井市平章小学校4年  
北 ころろさん



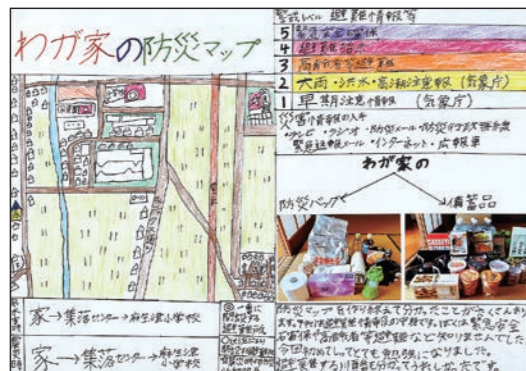
越前市吉野小学校5年  
木村 晴紀さん



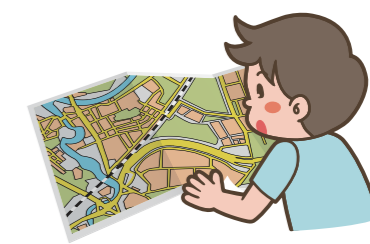
鯖江市立待小学校5年  
橋本 稜央さん



福井市麻生津小学校5年  
吉田 真輝さん



福井市社北小学校5年  
水島 令穏さん





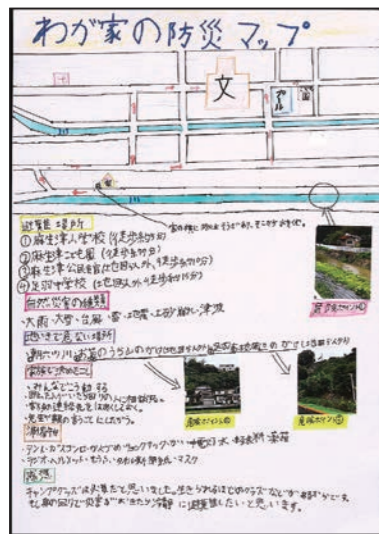
越前市吉野小学校5年  
政田 凧葉さん



福井市一乗小学校6年  
林 凜香さん



福井市麻生津小学校5年  
高橋 凜太郎さん



福井市麻生津小学校5年  
坪田 和実さん

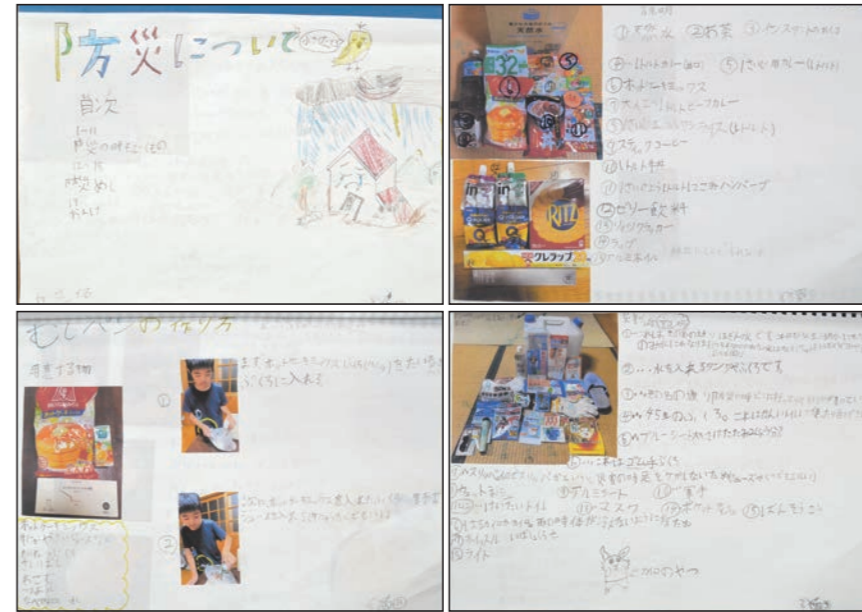


小浜市内外海小学校4年  
吹田 窓佳さん



〈番外編〉 pick up!

福井県外の児童からも熱心な作品が寄せられましたのでご紹介します!



大分県九重町立  
野矢小学校4年  
今村 光佑さん

講評〈審査委員長〉

当作品は食を中心とした災害への備えを15ページに渡ってまとめた大作です。家族一丸となって作成した様子うかがえる心温まる作品となっています。応募票には「災害があったときはあわてないようにがんばります」とあります。力強い決意ですね。

**防災出前授業やっています!**

国土交通省福井河川国道事務所 ☎0776-35-2661  
福井県砂防防災課 ☎0776-20-0494

全国各地で大きな自然災害が起きている中、災害の怖さを知り、十分な備えをすることはとても重要です。ふくいの水防災を考える会は、さまざまな災害にどう備えるべきか、分かりやすくまとめた防災補助教材「災害から命を守る みんなに知ってほしいこと」を作り、ご希望の方に配布しています。

また、国土交通省や福井県では小学校へ出向いての防災出前講座を行っていますので、ご希望があればご相談ください。

主催／ふくいの水防災を考える会 (福井河川国道事務所、福井地方気象台、福井県、福井市、小浜市、鯖江市、あわら市、越前市、坂井市、永平寺町、池田町、南越前町、若狭町)

共催／福井新聞社 NHK福井放送局 後援／福井県教育委員会 福井県防災士会

特別協賛／JA共済連 福井 協賛／近畿建設協会 損保協会北陸支部福井損保会 協力／ミドリ防災